

## 大部分がガラスで構成されている窓等の開口部の性能区分ごとの熱貫流率

### ●大部分がガラスで構成されている窓等の開口部

建具の仕様	ガラスの仕様		中空層の仕様		性能区分コード
			ガスの封入※1	中空層の厚さ	
樹脂製建具 又は 木製建具	三層複層ガラス	Low-Eガラス 2枚	されている	7mm以上	A
				7mm未満	B
			されていない	9mm以上	A
				9mm未満	B
		Low-Eガラス 1枚	されている	10mm以上	A
				10mm未満	B
			されていない	13mm以上	A
				7mm以上13mm未満 7mm未満	B C
	一般ガラス	されていない	12mm以上	B	
			12mm未満	C	
	複層ガラス	Low-Eガラス	されている	8mm以上	B
				8mm未満	C
			されていない	11mm以上	B
				11mm未満	C
一般ガラス		されていない	13mm以上	C	
			13mm未満	D	
単板ガラス	-	-	-	-	
樹脂（又は木） と金属の複合 材料製建具	三層複層ガラス	Low-Eガラス 2枚	されている	12mm以上	A
				12mm未満	B
			されていない	16mm以上	A
				8mm以上16mm未満 8mm未満	B C
		Low-Eガラス 1枚	されている	9mm以上	B
				9mm未満	C
			されていない	12mm以上	B
				12mm未満	C
	一般ガラス	されていない	7mm以上	C	
			7mm未満	D	
	複層ガラス	Low-Eガラス	されている	14mm以上	B
				14mm未満	C
			されていない	9mm以上	C
				9mm未満	D
一般ガラス		されていない	11mm以上	D	
			11mm未満	E	
単板ガラス	-	-	-	-	
その他 ・金属製建具 ・金属製熱遮断 構造建具 等	複層ガラス	Low-Eガラス	されている	10mm以上	C
				10mm未満	D
		されていない	14mm以上	C	
			7mm以上14mm未満 7mm未満	D E	
	一般ガラス	されていない	厚み問わず	E	
			単板ガラス	-	-

表中の用語の定義については、国立研究開発法人建築研究所が公表する「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「2.エネルギー消費性能の算定方法 2.1 算定方法 第三章 暖冷房負荷と外皮性能 第一節 全般」を参照（<https://www.kenken.go.jp/becc/house.html>）

※1「ガス」とは、アルゴンガス又は熱伝導率がこれと同等以下のものをいいます。

※国立研究開発法人建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の第三章 第三節 熱貫流率及び線熱貫流率の計算式によります。

※上表の他、一般社団法人日本サッシ協会作成の「建具とガラスの組合せによる開口部の熱貫流率表」に基づく性能値を引用することもできます。（<https://www.jsma.or.jp/Portals/0/images/useful/technology/25-0701.pdf>）

### ●性能区分コードごとの熱貫流率

性能区分コード	熱貫流率
P	1.1以下
S	1.1超1.5以下
A	1.5超1.9以下
B	1.9超2.3以下
C	2.3超2.9以下
D	2.9超3.5以下
E	3.5超4.7以下

※P、S、Aは先進的窓リノベ2026事業の対象になる場合があります。